

NEW MODEL IMPRESSION SeaRay 370 SUNDANCER

Sea Ray 370 Sundancer

全長 11.43m 全幅 3.66m 乾燥重量 8,194kg 燃料容量 855L
清水容量 189L 定員12名 航行区域 沿岸区域 最高出力 306hp×2
搭載エンジン VD-ヤンマー 6LPA-STP×2基

試乗艇特別価格 **¥64,800,000** (税込)

※金額は試乗艇価格です。オプション等の詳細はお問合せ下さい。



取材協力:アインスリゾート株式会社 大阪府堺市堺区神南辺町四丁120-2 TEL 072-224-4040 URL <http://www.eins-a.jp/>
芦屋マリーナ 兵庫県芦屋市海洋町11番1号 TEL 0797-35-6662 URL <http://ashiya.marinajapan.jp>



370サンダンサーはアグレッシブな乗り味が楽しめるボートで、スピード感を感じながら切れ込む鋭いコーナーリングは一度味わうと病み付きになる。また、前方の視界も大きく開けており、海風を浴びながら気持ちの良いクルージングを楽しめる。静止安定性も高く、海上で止まっても大きな揺れは感じない。

勢い良く加速したボートが波飛沫を左右に飛ばしながら、悠然とこちらに近づいてくる。スタイリッシュなボディを海面で躍動させ、コーナーに差し掛かると鋭くバンクして見せる。シーレイ370サンダンサーは見た目のエレガントさを一瞬忘れてしまうようなアクティブな走りを楽しめるモデルだ。37フィートあるボートとは思えないほど、操船者との一体感を楽しめるのも注目したい部分だ。ボートに搭載されているヤンマー製のエンジンはシーレイとの相性の良さも見せ、301hpの2基掛けで力強い走りを発揮している。加速性能に疑いの予知はなく、ブレーキングに入るタイミングも適切だ。これだけの性能があれば休日をフ

ルに使ったファミリークルージングや気ままにマリーナを訪れてショートクルージングをするシーンにも十分対応してくれるだろう。走行性能に関して、もう少し掘り下げて数値面を見てみると、排気量4200ccのディーゼルエンジンは最高速度約30ノットを記録するとのこと。その際、エンジン回転数は3900回転。そして、燃費面においては3682回転で約102Lと好感の持てる数値となった。こうした数値面からもこのボートの高い走行性能が分かって頂ければと思う。休日に美しいフォルムを身にまとったシーレイに乗っている。それだけでもどこか誇らしげな気持ちになれば、十分なステータスも感じれるだろう。また、シーレイ3





トイレ&シャワーも完備



ヘルムステーションに窮屈感はない。操船席はベンチシート(旋回式)になっており、2人掛けでの操船が楽しめる。また、左舷側のシートも旋回式になっている。



BBQグリルとその下には冷蔵庫を完備。食事の際にはL型アフトシートでゆっくりと歓談の時間を過ごせる。状況に応じたシートアレンジも可能。



テーブルを収納すればサンパッドにもなり、より寛いだ姿勢で過ごせそう。エンジンはヤママー301hpを2基掛け。スイムプラットフォームはスイムラダー付き。



キャビン内はエレガントなスタイルで統一。レイアウトや色使いのどこを見ても高いクオリティで仕上げられている。Vバーズには電動式のダブルベッドを装備。



ギャレーには電気コンロや冷蔵庫も備えられており、ある程度の調理にはしっかりと対応してくれる。また、ミッドパースソファはダブルベッドにも変換可。

70サンダンサーは居住性能に関してもあらゆる機能面でユーザーを満足させてくれる。清潔感のあるチークフローリングやゆったりと座れるL型アフトシートでは体だけでなく心もゆっくりとリラックスさせてくれるのだ。ここでは快晴の空の下で、海にボートを浮かべのんびりと休日を楽しみたい。もちろんBBQグリルや冷蔵庫もあるので肉をボートに持ち込んで、良く冷えたシャンパンで乾杯したら最高だろう。コックピットはレイアウトが自由自在にアレンジできるので、自分のスタイルやその日のゲストの人数に応じて、好きなレイアウトを自分で作っても良いだろう。こうした柔軟性もとても魅力的な部分で、次はどんなスタイルで楽しもうか考えている時間だけでも十分楽しめそうだ。もちろん食事以外にもコックピットで歓談するならどこでも可能なくらいスペースは広くて居心地が良い。ハードトップのため直射日光もある程度は防いでくれるのだ。また、L型アフトシートは前にあるテーブルを収納し、

フィラークッションを追加することでサンパッドとしても使用出来そうである。このように晴れた日には最高の寛ぎ空間として利用してほしい。また、キャビンの中もコックピット同様に見所満載だ。落ち着いた空間は上品な会話を静かに弾ませる。まるでホテルの一室のようなこの場所では非日常を感じるには十分なクオリティを持っている。Vバーズにあるアイランドスタイルのダブルベッド(電動式)は低反発材マットレス使用で寝心地も最高だ。ミッドパースではベッドへの変換可能なソファが配置され、長時間のステイにも問題なく対応してくれる。また、ここではカーテンを利用することでプライベートな空間としても活躍してくれそうである。もちろんギャレー、トイレ、シャワーもあるので、気の済むまでボートで寛いでほしい。シーレイシリーズはこうした居住性の良さや走行パフォーマンスでいつもユーザーを高い次元で楽しませてくれる。このボートの魅力、それを是非多くの人に感じて欲しい。